



～TOKYO スポーツチャレンジ～
チアリーディング&チアダンス大会 夏チア 2017

夏チア 2017 大会ルール

CHEERDANCE

—目次—

P.1	目次
P.2	大会概要
P.3	競技規定
P.4	安全規定
P.5	演技規定
P.7	ジャッジシート解説
P.8	減点について
P.9	表彰について

開催日 2017/6/4

<<大会概要>>

- ・ 名称：～TOKYO スポーツチャレンジ～ チアリーディング&チアダンス大会 夏チア 2017
- ・ 日程：2017年7月29日(日) ※雨天決行
- ・ 会場：味の素スタジアム (東京都調布市)
- ・ 主催：TOKYO スポーツチャレンジ実行委員会
- ・ 主管：公益社団法人調布市体育協会
- ・ 特別協力：味の素スタジアム
- ・ 協賛：株式会社マンダム
- ・ 運営：夏チア CUP 運営事務局

■夏チアとは

チアリーダーは『応援する気持ち』を豊かな表現力で客席に届け、常に前向きにリーダーシップを発揮し、周りの人を勇気づけます。

夏チアは、実技レベルを競い合うことのみならず、チアリーダーとしての自覚を持ち、お互いを尊重し、称え合うことを大切にしているチアリーディング&チアダンス大会です。

身心共に大きく成長するこの『夏』に、積み上げた努力を発揮し、自分を信じてチャレンジする皆様を夏チアは応援します。

■夏チアのテーマ

～正しく安全な技術の習得を目指して～

成長過程にあるチアリーダーが、より正しく安全な技術を身につけること、指導者が大会出場のためのルール知識を身につけることを目的とし、大会前には『ワークショップ』を、大会後には『クリニック』を開催します。大会当日においては、それぞれの専門性に配慮し、『チアリーディング』と『チアダンス』2つの部門で開催します。指導者・選手を対象とした学びのコミュニケーション機会を提供し、出場チーム同士が高め合い、称え合う大会を目指します。

～チアリーダーの成長に繋がる審査を目指して～

夏チアの特徴は、チアリーディング、チアダンス、クラシックバレエなど、各分野の専門知識を有する審査員による厳正で丁寧な審査を行い、豊富なコメントをジャッジ表の中で表現することです。

大会後の『クリニック』では、このジャッジ表を元に、各チームの成長に繋がるお手伝いをします。審査員とのコミュニケーションをはかり、具体的なステップアップを目指してください。

■夏チアスピリット

- ① お互いを尊重し、称え合う気持ちを大切にします
- ② 安全で正しい技術を習得します
- ③ 支えてくれる全ての人に感謝の気持ちを表現します

この経験を通して皆様が大きく成長することを期待しています。

<<競技規定>>

■カテゴリー

【チアリーディング部門】

レベル1 PREP/レベル2 PREP/レベル3 PREP

【チアダンス部門】

カテゴリー区分はございません

■年齢ディビジョン

- ・ MINI (ミニ) 出場選手全員が小学校4年生以下 ※未就学児は対象ではございません
 - ・ YOUTH (ユース) 出場選手全員が小学校6年生以下
 - ・ JUNIOR (ジュニア) 出場選手全員が中学生以下
 - ・ SENIOR (シニア) 出場選手全員が5年生以上高校生以下
- ※ただしチームの80%が各部門に設定された年齢であれば上記の要件を満たすものといたします
(大会出場時の2017年7月29日時点で)

■人数ディビジョン

【チアリーディング部門】8名以上/36名まで

【チアダンス部門】5名以上/上限は設けません

※人数によるディビジョンの分けはございません

■演技フロアサイズ

縦12m×横16m

◇演技床面

【チアリーディング部門】チアマット

【チアダンス部門】スポーツコート/硬質プラスチック・全天候多目的床材

■演技時間

◇チームの持ち時間 4分間

※下記①+②を4分間以内に構成してください。

※チーム名が呼ばれたらすぐにコートに入場下さい。

1人目の選手がコートに入ったところからチーム持ち時間の4分間がスタートいたします。

①演技：1チーム@1分45秒以上2分30秒以内

②チーム紹介：メンバーによるチーム紹介（センターにマイク有り）

チアリーディング部門に関しては、チーム紹介とは別にマイク無しのチアクライテリア（コールパート）を入れること。

<<安全規定>>

■共通項目

- 1, 大会期間中、全てのチームは認定された引率者もしくはコーチが付き添うこと。
- 2, コーチは個々の選手とチームの能力、レベルを考慮して演技全体のパフォーマンスレベルを決定すること。
- 3, 全てのチームメンバー、コーチ、引率者はメンバーが負傷した場合、迅速に対応できるよう対策をすること。
- 4, 本大会に参加するにあたり、スポーツマンシップに則り、マナーのある行為を心がけること。
それぞれのチーム責任者またはコーチは、自チームのメンバー、コーチ、保護者、チーム運営に関わる人の監督責任を持つこと。
- 5, 演技中、審査員が危険と判断した動作に関しても、減点対象となります。

■ 部門別項目 / チアダンス

1, <着地について>

ジャンプ/リープ・タンブリングなどからの危険な着地は禁止です。足で大半の体重を支えること。

2, <シューズについて>

接触によるケガ、床面を傷つけるものは禁止です。足裏全体を覆っている履きものであること。靴下・タイツのみは禁止です。

3, <アクセサリについて>

落下や接触によりケガに繋がるものは装着禁止です。ユニフォームの一部としての装飾で、落下しないものであれば可能です。

4, <スタッツ（床面から両足が離れ、人に全体重が乗っている動作）について>

演技中の実施は不可といたします。

<<演技規定>>

■共通項目

1, <振付・服装・選曲について>

挑発や侮辱、品の欠ける振付、衣装、音楽の使用は家族が観る大会として不適切なものは避けること。

2, <演技構成について>

全ては観客に向けて適切であり楽しめるものであること。選手の年齢を考慮した内容で演技構成をすること。音楽の解釈が演技構成とマッチしていること。

■部門別項目 チアダンス

1, 演技内容

チアダンスの要素（アームモーション、ジャンプ/リープ、ターン、キック、ラインダンス）を用いて構成されたカテゴリーです。

チームとしての一体感が重視され、正確さや統一性、演技の連続性、視覚効果（フォーメーションチェンジ、立体的な変化）、同調性溢れるダンスなどを組み込んだ、創造性溢れる内容であること。

※チアダンスの各要素はバランス良く演技構成に組み込んでください。実施に対して配点がございます。

2, ラインダンスについて

選手が横1列（フロアに入りきらない場合のみ2列可）に肩をくむ、または腰に手を添えるなど繋がった状態で連続して16カウント以上のラインワークを行うこと。全員が繋がっていない間はカウントされません。（キックをしなくても可）

※ 2017年の実施より、MINI,YOUTH ディビジョンのみ対象となります。

JUNIOR/SENIOR は必須項目ではなくなりました。

3, 手具について

演技中の手具はポンポンのみとします。

演技の80%は全員がポンポンを使用すること。（1人でも両方のポンポンを置いた場合は手具を持っていない時間となります）片方は置いて、片手でポンポンを使っている場合は持っていると思なされます。

4, スタンツについて（床面から足が離れ、全体重が人の上に乗っている動作）

チアリーディング部門で行われる『スタンツ』の実施は年齢に関わらず不可です。

5, タンプリング及び空中技について（アクロバティック、体操的な技）

・ポンポンを持った状態で手に全体重をかける（手と床面及び人の上にポンポンがある状態）ことは禁止です。

※ただし、前転、後転は例外です

・走り込みなど勢いをつけることは禁止とします。静止及び歩行からは可能です。

◆JUNIOR/SENIOR

・ポンポンが手、床面または人との間にない状態で、腰が頭を越える体勢での回転を含むタンブリングは可です。

・身体が空中に浮くもの（手の支持がないもの）は不可です。

※ただし、片手ハンドスプリング（前方転回の片手支持の動作）および、側方宙返りは実施可能です。

・ジャンプやターン、タンブリングなどの着地は必ず片手もしくは片足に体重が乗るようにすること。
（膝や背中から着地しないこと）

◆MINI/YOUTH

・腰が頭を越える体勢での回転を含むタンブリングは不可です。

【有効技】前転・後転（Pom を持っていない可）・ショルダーロール・両手及び片手側転（但し、体重をかける手に手具を持っていないこと、床面と手の間にポンポンを挟まないこと）

6. ダンスリフトについて（人を持ち上げるリフトや複数で行う技）

◆JUNIOR/SENIOR

・実行者（トップ）を支え補助する人（ベース）は、常に床面に直接触れていること。
（ポンポンを床面との間に挟まないこと）

・ベースの肩の高さ以上の技の場合、少なくとも 1 名以上のベースが常にトップに触れていること。

・トップの腰の高さがベースの頭より高くなる回転技は、トップが床に触れるか、頭が上の状態に戻るまでベースが常に触れていること。

◆MINI/YOUTH

・床から両足が離れるリフトは禁止です。

・足が床に付いた状態で人に寄りかかり、体重を預けることは実施可能です。

<<ジャッジシート解説>>

■Choreography（振付） 30点

- Originality/Creativity オリジナリティ/創造性 <音楽の解釈、視覚的效果を含む>
多くの個性によって構成されているか、動きのバリエーションに工夫があるか、また、様々なフォーメーションチェンジや、モーションがバラエティに富み、フロアを大きく有効的に使い見栄えのある構成であるか。
年齢に等しいオリジナルのある演技で、なおかつ選曲した音楽の解釈が振り付けとマッチしているか。
- Continuity/Transitions 連続性/移動
曲のつながりで動作や移動が途切れることなくスムーズに行われているか、また工夫があるか。
- Difficulty of Pom/Skills ポンとスキルの難度
ポンポンの動きとテクニックが多様で、テンポの速さやコンビネーションであるか、また、チームのレベルにあった適切な動き、スキルであるか。

■GROUP EXECUTION（実行） 30点

- Synchronization/Uniformity 統一性/同調性
動作がチームで均一されているか、実施したテクニックがチームで同じように完成されているか。
- Spacing 位置間隔
スムーズな移動で定められたフォーメーションにつけているか、また、時間内で定められた間隔を均一にとれているか。
- Strength and Movement 力強さとスムーズな動き
チームとして動きが力強く、コントロールできているか。また、動作の全てがチームとしてスムーズに動いているか。

■TECHNIQUE（技術） 30点

- Placement and Control 正しい位置とコントロール
全員が正しい形で完成度が高いこと。姿勢、位置が正しく、動きをコントロール出来ているか。
- Technical Elements 特有の技術要素の実行
チアダンス特有の技術的要素が適切に、且つ正確に行われているか。
- Difficulty 難度
テンポの速さやコンビネーションを完成度高く実施できているか。

■OVERALL IMPRESSION (全体の印象) 10点

Showmanship 表情・表現力

表情、動作により、快活なチームの印象を発信できているか。

Uniform/Musical ユニフォームと音楽

年齢に応じた適切な身だしなみ、選曲であるか。

Communication コミュニケーション・アイコンタクト

観客へのアイコンタクトがしっかりでき、気持ちを伝えられているか。

しっかり前を向いて自信をもった演技ができているか。

<<減点について>>

減点方法は部門により異なります。

チアダンス部門では、『競技規定』、『安全規定』、『演技規定』に指定された項目から外れてしまった内容に対して、減点対象といたします。

また、年齢ディビジョン毎に減点項目が異なりますので、減点シートをご確認ください。

1カ所につき、全ての項目を対象として『2点』が減点となります。

(審査員平均得点から減点となります)

減点対象とみなされる項目について、減点ではなく、警告または審査の対象外となる場合がございます。予めご了承ください。

1, 人数

5名以上であること

2, タイムオーバー

演技時間 1分45秒~2分30秒間であつ、チーム持ち時間の4分間で構成されていること

3, ラインオーバー

演技フロアサイズ縦12m×横16m内であること

4, 着地

安全規定に準ずる

5, 手具

演技規定に準ずる

6, チアリーディングスタンツ

演技規定に準ずる

7, ラインダンス規定

演技規定に準ずる

※JUNIOR/SENIOR は対象ではございません。

8, ダンスリフト（年齢別）

演技規定に準ずる

9, タンブリング（年齢別）

演技規定に準ずる

<< 審査・表彰について >>

【審査について】

- ・審査は年齢ディビジョンごとに行われます。
- ・2名以上の審査員と、セイフティー審査員1名以上により厳選なる審査を行います。
- ・得点は審査員の平均点から減点対象ポイントを引いた合計点数となります。

【表彰について】

- ・総合賞：MINI/YOUTH/JUNIOR/SENIOR の年齢ディビジョンごとに1位～4位が表彰されます。
（エントリー数によっては、表彰数を変更する可能性があります）
- ・特別賞：マンドラム賞、テクニカル賞、スピリット賞、スマイル賞が表彰されます。
- ・チーム賞：全出場チームに表彰されます。（得点ごとに賞が異なります）